

古文を読む 全校研究授業（国語科） 9.18

県教委から指導者をお招きし、生徒が身に付けた知識を活用して学び合う授業はどうあったらよいかを1年生の国語の授業を通して、全職員で研究協議しました。当日は天龍小学校や他中学校の先生も参観され、生徒の学びや活動の様子から成果と課題を話し合いました。古文の読み方の特徴を学んだ生徒が、既習内容をフル活用して本時初めて出会う古文を意欲的に読み合う姿に成長を感じました。



天龍村の歴史の一部を知る 在日中国人殉難烈士慰霊法要 9.22



5年に一度、実行委員会による在日中国人殉難烈士慰霊法要が行われています。今年がその年で、中学生の参加依頼もあり、4人の生徒が出席し校長・教頭と共に献花させていただきました。戦時中の平岡ダム建設にかかわる事実に触れ、当村の歴史に関心をもった様子がインタビューに答える生徒からも伝わってきました。風化させてはいけないことであり、あらためて若い世代が語り継いでいく必要があると思いました。来年3月に実施されるグアムへの海外研修は平和学習の場でもあり、これから行われる事前学習にも前向きに取り組んでほしいと願います。

中体連新人大会 水泳・陸上 中南信大会 9.2 / 9.23

初めて中体連の大会へ出場した水泳班の1年生と、3年生が引退し新体制でスタートした陸上班1、2年生が新人大会に出場しました。猛暑の夏で厳しい条件の中で粘り強く練習し、心と体そして技能を高めた成果を精一杯発揮する姿が見られました。多くの生徒が自己ベスト記録を更新し、仲間に声援を送る態度を頼もしく思いました。“心を一つに天龍魂”を合言葉に、更なる活躍に期待します。交通面や会場での応援など、保護者の皆様のご支援にも感謝申し上げます。



Heading to success 第48回 譲葉祭 9.29



9月29日（土）、生徒会最大行事である譲葉祭が開催されました。開会式（開会宣言）を皮切りに、午前中は各学年発表やダンス発表が行われました。学びのまとめをひとりひとりが堂々とした態度で発表し、テーマ達成を目指した姿を見ることができました。午後のふれあい講座は“絵手紙・書道・ペタンク”の3講座で保護者や家族、卒業生や地域の方々と交流しながら楽しく取り組みました。雨天の為マレットゴルフが中止となり、少し残念でした。お昼は体育館に一同が集まり輪になって婦人会の皆さんが用意してくださった豚汁とオニギリをいただきました。和やかな雰囲気でも過ごすことができました。

音楽会は、ひとりひとりの声がバランスのよいハーモニーとなり、素晴らしい会となりました。各教室に展



示された生徒や職員の心を込めた逸品が来校された方の足を止めていました。閉会式ではステージ上でひとりひとりが感想や思いをしっかりと述べ、感動の閉会となりました。来校いただいた方より感想もいただきました。



- ・ステージ発表、展示等見せていただきました。少人数ながら、皆さん頑張っている様子が分かりました。今後も学校生活を楽しんで、ますます活躍されんことを祈念いたしております。
- ・生徒の活き活きとした行動や団結力に感動しました。大変ご苦労様でした。
- ・OBとしてお邪魔させていただきました。天中生、みんな頑張っていて、みんな輝いていて、ステキでした。自分の時も全校で14人しかおらず、企画に苦労した覚えがあります。乗り越えて一回り成長するのが天中生。この経験は必ず活きます。今日は本当にありがとうございました。

中間テストに向けて WGT（若鮎学習タイム） 10.2～10.4

譲葉祭を終え、2学期中間テストに向けて学習相談の時間を設けました。WGTも定着してきました。すべての1、2年生が各自の課題解決に向けて個別指導を受けました。今月末にある3年生総合テストに向けても計画をしています。日頃から“分きたい”気持ちをチャンスととらえ、積極的に質問する姿勢が身につくことを期待しています。



満島神社例大祭“神輿きおい”参加 10.14

村行事であるお祭りの神輿きおいに参加しました。2年生を中心に1年生と共同制作した神輿を3年生も加わって担ぎました。昨年雨の為できなかった分、今年は中学生の心意気を見せ、元気でハツラツとした姿でした。保育所、小学校と合わせて4機の神輿が元気に練り歩きました。最優秀賞は保育園に輝きましたが、本校は努力賞をいただきました。



福祉とは 福祉体験学習（キャリア教育） 10.16,17

3年生5名が2日間村内の福祉施設で職業体験を実施しました。2年生次の村外の希望職種での体験学習を経て、福祉を共通キーワードに事前・当日・事後の学習を展開しました。“福祉とは”そして“働くとは”の両面からの学びに真剣な取り組みが見られました。

10月11日の事前学習では、長野県社会福祉協議会福祉人材部キャリア支援専門員南信担当の宮本様より「福祉とは」「福祉の仕事」等を教えていただきました。実際に相手を立たせる介助のポイントを実習したり車椅子用ボタンの違い等、実生活にいかせる内容を教えていただきました。



・「福祉」について話を聞きました。正直、今の自分にはあまり関係ないと思っていましたが、資料などを見ると結構関わりがありました。DVDも見ました。3人の映像を見ましたが、3人ともお年寄りの方と話すときに、ニコニコしていたので、笑顔は本当に大切なんだと思いました。その後、立たせるときにどうするかのやり方を学びました。やる方は普通ですが、やられると立つ時にとっても楽だと感じました。2年生の職場体験とはまた違って、命に関わるので、よく職員の方の話を聞いて、しっかりと取り組んでいきたいです。

ハンガープロジェクト 森林レボ 村民と共にハンガー製作 10.4

今年の森林レボリユーション（学有林作業）は、村長さんをはじめとする村民参加のハンガー作りを実施。中学生が指導者となって参加者に教えたり、村の大工さんからコツを教えてもらったりしながら村の間伐材（ヒノキ、スギ）でハンガーを作りました。10日後に迫った至学館大学レスリング部の皆さんへ届けるハンガーを仕上げるという具体的な目標もあり、一本一本が心を込めたハンガーとなりました。



ハンガープロジェクト 至学館大学（愛知県）レスリング部に届けました 10.13

“手作りハンガーを世界のアスリートに届けよう”をスローガンに進めてきた村民一体化企画。至学館大学女子レスリング部を訪問し、70本のハンガーを届けることができました。

到着後、谷岡学長さんより五輪に関わるお話をいただきました。メダルの裏話やリオ五輪の金や銀のメダルに触れたり首にかけたりと貴重な経験をさせていただきました。そして『東京五輪でメダルを取ったら、天龍村に見せに行きます』と約束していただきました。練習場に移動しレスリング部の皆さんと対面。10月末に開催される世界選手権の日本代表選手と共にリオ五輪のメダリストも一緒に練習していました。初めてのレスリングマットの感触に戸惑う中、当初予定になかった吉田沙保里選手がサプライズ登場し、更に場の雰囲気が一変しました。教育長さんと生徒代表の挨拶に続いて、一人一人が応援メッセージを添えて選手にハンガーを渡しました。もっとも感動した瞬間だったようです。その後はロープ登りやタックル等の練習をさせていただき、最後はお茶チョコをプレゼントし写真撮影をして帰りました。



後日、「ハンガーをもって世界選手権大会(ハンガリー)へ出発しました」との連絡をいただきました。この日は夢が実現した大きな第一歩でした。今後もドミニカ共和国や東海大学陸上部へと夢は続きます。

・リオ五輪のメダルを見ました。生で見たのは初めてなので、とても感動しました。本物の選手のサインや金のコーラなど、とても貴重なものがたくさん見れてとても嬉しかったです。レスリングの練習場に入ると、とてもビビリとした雰囲気だったので、すごいなと思いました。選手の皆さんに直接ハンガーを渡しましたが、とても緊張しました。勇気を出して、心を込めて渡すことが出来ました。吉田選手も来てくださって、とても驚きました。本当に貴重な体験になりました。これからの活動も頑張っていきたいです。



・谷岡学長さんがお話ししてくれました。ニュースなどで見たのとは違い、すごくやさしくて、あかるい人で、ホッとしました。吉田選手が来て、すごく興奮しました。ハンガーを渡すとき、すぐ隣りにいて、すごく嬉しかったです。サインももらえたり、握手や写真撮影もできて、すごく幸せでした。
 ・私たちが作ったハンガーを選手の皆さんに渡したら「すごい」と言ってくれて、嬉しかったし、よかったです。実際のアスリートの皆さんに直接ハンガーを渡すことができて、本当によかったです。



ハンガープロジェクト PTA 健全育成事業 小学生・保護者とハンガー作り 10.28

7月台風の影響で延期したPTA主催の健全育成事業が28日(日)に体育館・木工室にて開催されました。ドミニカ共和国の野球やバレーボールの選手に向けて、小学生そして保護者の皆さんが一体となってハンガー製作しました。いよいよ輪が広がってきています。

